

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	平成30年度 嬉野市第2回食育推進会議		
開催日時	平成31年2月18日(月) 14:00～15:15		
開催場所	塩田保健センター2階会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	森サチ子委員、森恵子委員、江口智子委員、中園梢委員 古河タカ子委員、古瀬光子委員、梶原里美委員 松尾明美委員、馬場弘子委員、山本由起子委員 松尾真子委員、野口美砂穂委員、金丸さとみ委員	
	事務局	市民福祉部長、健康づくり課長、健康づくり課副課長2名 健康づくり課主事	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	・ 会議レジメ (当日 P1、P53 差し替え)		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

所管課	健康づくり課
<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 市民福祉部 中野部長より挨拶</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 平成30年度嬉野市食育推進事業報告について</p> <p>1) 食育推進事業について</p> <p>【事務局】 P1～6 について説明。</p> <p>食生活改善推進員教育事業は、昨年より1回増やしたことで修了率が上がった。テレビ九州放送の「佐賀の郷土料理勉強します」の放映により、食改への郷土料理を教えてほしいという依頼が増えた。</p> <p>2) 食育広報について</p> <p>【事務局】 P7～11 について説明</p> <p>3) その他の事業の取組みについて</p> <p>【事務局】 P7～52 について説明。</p> <p>小学校では実際に育てる体験学習、高学年では実習も多く計画されている。中学校では食事バランス、生産者との交流など食を通した「生きる力」の学習、保育園・幼稚園ではいかに楽しんで食に興味をもてるかを考えて計画されている。食育は幅が広く明確な意味を理解するのが難しいと言われていたが、家庭へ続く取り組みも多く、少しずつでも浸透していくことを期待している。</p> <p>(2) 2019年度嬉野市食育推進事業計画(案)について</p> <p>1) 食育推進事業について</p> <p>【事務局】 P53～54 について説明。</p> <p>2019年度は特に、保育園の保護者に対する食育講演会の開催を推進したい。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>【事務局】 P55 について説明。</p> <p>例年どおり計画に沿って実施したい。</p> <p>【委員】 P54 「食べるのが上手でない子のチェックしたい点」の「鼻づまり」とはどういうことか。</p> <p>【事務局】 食べることそのものの問題だけに目を向けるのではなく、幅広く子どもの様子を見ていただくようお願いしたものである。</p> <p>【委員】 P54 食事時間、就寝時間についてこんなに遅いのか。</p>	

【委員】現在 19 時まで保育しているが、それから食事の支度をされる家庭もあり、子ども達の就寝時間は遅くなっている現状はある。園からは 9 時までには寝せていただくよう声かけはしているが、遅い時間に子どもを連れまわす意識の低い保護者もいる。入園式でも早寝・早起き・朝ごはんについては話す、現在 1 人は保護者の都合等で食べて来ない子を確認している。

【委員】学校から家が遠い子が、返ってしっかり早起きし、朝ごはんを食べているように感じる。

(3) 第 3 次嬉野市食育推進計画進捗状況について

【事務局】P56 について説明。

【委員】「学校給食における県内産食材の使用割合」はこの位か。

【委員】その月の天候状況にもより、給食センターで使う量がまかなえない状況がある。

【委員】「朝食を毎日食べる生徒（中 2）」が 91.4%に対し、朝食の内容が「主食とおかずとみそ汁」を食べる生徒（中 2）」が 15.8%というのはどういうことか。みそ汁は体調を整えるためにも大切なものと思う。

【委員】朝食は食べていても主食のみの子が多く、バランスが悪い子が多いと言える。みそ汁まで食べることはハードルが高いようだ。

【委員】私は 350/365 日みそ汁をつくる。美味しいみそ汁を是非家庭でも作ってほしい。

【委員】保育園では「簡単にできる朝ごはん」のレシピ集を作って配布している。

【委員】みそ汁の出汁について数パターン提案し給食だより等で紹介するなど、保護者へのアプローチをいろいろ試してはいる。

【委員】今年度はアレルギーの子がおり出来ていないが、園ではみそ作り体験も行っている。

【委員】母親は忙しくわかっていてもできない状況もある。できない状況をどのようにフォローしていくかを考えることがこの場であると考えている。

【委員】みそ汁は朝にこだわらなくても良いと考える。心の余裕も必要。

【委員】我が家では 365 日みそ汁を作るが、天然のもので夜に出汁を取る。みゆきの里では湯を注ぐだけで簡単にみそ汁が作れる『みそ玉』作りを指導している。

【委員】5、6 年生の家庭科を担当し、先週金曜日に、調理実習でみそ汁作りを行った。アンケートでは出汁の素やインスタントみそ汁を食べる家庭が多かった。出汁の有無による味の違い等も学習したところ、週末に家で作った子もいて、教えて良かったと実感した。子ども達が作るようになれば、生きる力になるのではないか。

【委員】30、40 代の母親が、毎朝みそ汁を食べる（主食・主菜・副菜の揃った朝ごはんを食べる）環境で育ったのかも疑問に思う。みそ汁についてはどこかで 1 回は食べられたら良いと思う。

【委員】今回は早く資料を送ってもらい、じっくり見ることができた。「食育強化月間取組み報告」で気付いたこと。①P14 芋さし体験（五町田小学校）について、地域コミュニティーとの連携は食をはじめ子ども達の安心安全に繋がっているのではと思う。②P19 親子給食会・食育講座（大野原小学校）保護者対象に子ども達の食事について直接理解を深めてもらうことは良いと思う。③P24 食育授業（嬉野給食センター）④P34 たべもののひみつをしろ（久間小学校）話だけでなく、子ども達に振り返りをさせている。自分たちで考えさせる教育に変わってきて嬉しい。⑤P35 親子餅つきと振る舞い（塩田小学校）減農薬で育てた餅米、⑥P39 食育の授業（大野原中学校）食品添加物の害のような学習も大事と思う。子ども達の教育と共に保護者へも教育してほしい。

また、健康づくりへのお願いとして、「インフルエンザが少ない」や「体力測定の結果が良い」等でも良いと思うので食育の効果が見える形で示していただきたい。

【委員】食事講習会に若いお母さんの参加が少ない。

【委員】食改の会員には男性もおられ、素晴らしと思う。

【事務局】食改ではおやこの食育教室や学校での食育教室など数多く開催しておられる。また、健康づくり課では、3年前から実施している「3歳児健診での早寝・早起き・朝ごはんの普及」に加え、「赤ちゃん相談での離乳食の試食」「1歳6カ月健診でのおやつのお大切さの普及」等の実施を試みている。様々な方々が自分たちのできる取組みで、嬉野市の子ども達の健康を守る取組を行っていただきたい。

【委員】お茶の効用についてがんやO-157の予防が知られているが、飲むことと共にお茶を食べることも勧めていきたいと考えている。今年卒業する我が家の娘は、朝ごはんをしっかり食べ、小・中・高校皆勤賞だった。

【委員】テレビ九州で「お茶を使った料理」も普及しているので、見ていただきたい。

4. その他

【事務局】活発に意見交換をしていただき、大変有意義な時間となった。本会議に関係者の皆様が集まり、情報交換したことを、今後は自分たちの団体での活動に活かしていただきたいと考える。市でも取り入れられるところは取り入れていきたい。

(1) 嬉野市食育推進会議委員名簿

任期は平成32(2020)年3月となっているが、異動・役員改選等で今年度委員を交代される方は事務局までお知らせください。

5. 閉会

以上